

米谷出張所だよ!

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

〈令和5年8月24日〉



防災教室に協力しました



8月5日(土)、登米市迫町の東表行政区の防災教室に参加しました。こちらの地区は、昭和22年(1947年)9月のカスリン台風の際に北上川の堤防決壊による浸水被害に遭ったこともあり、夏休みを迎えた地区の子供たちを対象に自主防災会の主催による防災教室を開きました。その中で中田町の大泉堤防で起きた堤防決壊の話や流域治水*について説明しました。参加した子供たち(大人も!)は、真剣な表情で聞いていました。参加した小学生は、「洪水になったときの水がすごく怖いと思った」と感想を話していました。



カスリン台風による大泉堤防決壊の説明をしました



「大泉堤防之由縁」の石碑前

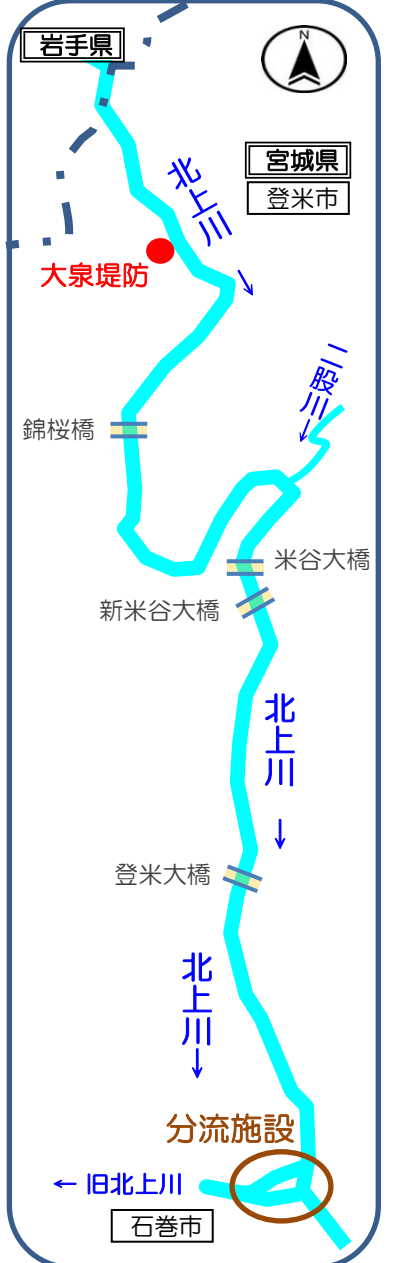


大人の身長をゆうに超える洪水水位3.6m(吐出生活改善センター)



登米市の担当者からのお話もみな真剣です

米谷出張所 管内図



※ 流域治水とは

水があふれることを前提にして河川の流域に関わるあらゆる関係者が協働して行う対策のことをいう。例えば、水をためられる場所をたくさん確保したり、危険な場所に住まないようにしたり等の下記の対策を組み合わせることで被害を小さくしようという考え方。

① 氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策

雨水貯留浸透施設の整備・ため池等の治水利用・田んぼダム・利水ダムの活用・堤防強化など

② 被害対象を減少させるための対策

土地利用規制・誘導・移転促進・不動産取引時の水害リスク情報提供など

③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める

水害リスク情報の空白地帯解消・多段型水害リスク情報を発信・官民連携によるTEC-FORCEの体制強化・排水門等の整備、排水強化・マイ・タイムライン※2の普及など

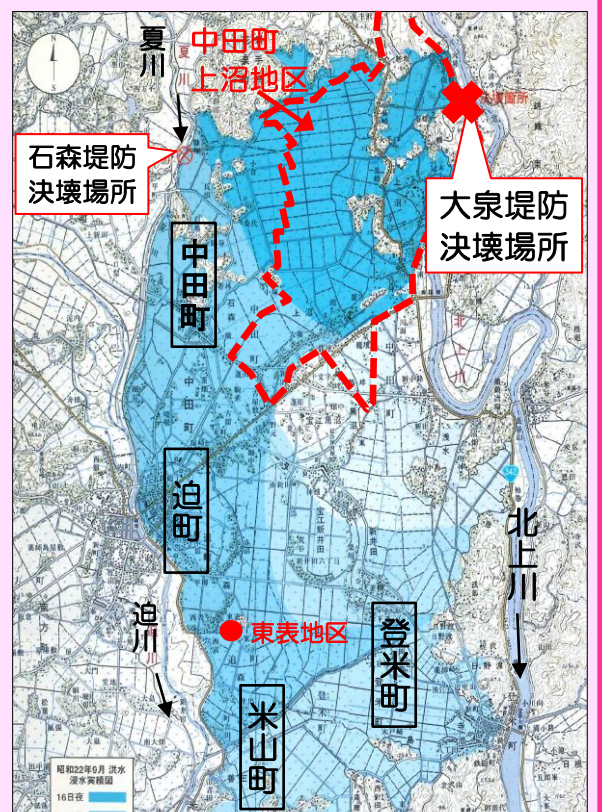
※2 マイ・タイムラインとは

河川の水位が上昇して氾濫するまでには段階がある。それまでに余裕をもって逃げることができるよう、事前に自分自身がとる避難行動について時系列的に整理してとりまとめる計画書。

カスリン台風による北上川・大泉堤防の決壊

昭和22年(1947年)9月、カスリン台風の接近に伴う断続的な雨が5日間にもわたり降り続き、登米市中田町の大泉堤防が決壊し、北上川の濁流が中田町を駆け抜け、約15km下流の登米町や迫町、米山町までの一体に広がり、死者15人、浸水家屋5,908戸、全半壊408棟、流失家屋271棟と大きな被害となりました。

また、迫川支川の夏川では石森堤防が決壊し、町は二手からの濁流に呑み込まれ、その後減水に至るまで、一週間も要したと言われています。



昭和22年(1947年)9月カスリン台風による浸水範囲

国土交通行政関係功労者 20名、17団体を表彰

北上川下流河川事務所では、国土交通行政に関する事業に従事・協力、功績のあった方々や設計・測量・調査等の業務の中で、業務成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があった方々を国土交通行政関係功労者として表彰しています。

7月27日（木）に行われた表彰式で表彰された米谷出張所管内の方々をご紹介します。

- ❁ **優良工事施工者**： 令和4年度完成工事で、工事成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したものに贈られます。

(株) 只野組 様 工事名：北上川下流日根牛地区築堤工事



- ❁ **優良工事技術者**： 令和4年度完成工事で、優秀な成績をおさめた工事の技術者に贈られます。

(株) 只野組 現場代理人：佐々木 様 監理技術者：石川 様



- ❁ **災害対策功労者**： 令和4年度中に発生した風水害等の自然災害の予防・復旧に顕著な功績があった団体または個人に贈られます。

(株) いのまた 様 令和4年7月豪雨において内水排水作業を行い、浸水の早期解消に貢献



これまでの功績に感謝するとともに、引き続き地域のためにご協力をお願いいたします。



国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 米谷出張所

〒987-0902 宮城県登米市東和町米谷字古館5-4 TEL 0220(42)2211 FAX 0220(42)2249

北上川下流河川事務所ホームページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>

